

稲作だより

第5号

令和5年5月23日発行
山形おいしさ極める！
米づくり日本一プロジェクト
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8287

**5月下旬の気温は高めで推移する予報！
除草剤の散布遅れとワキに注意しましょう！**

【本田の初期管理】

1. 水管理

- ☑ 田植え後は、活着するまで水深4～5cm程度にして根の発生を促しましょう。
- ☑ 活着したら、水深2～3cmの浅水で水温を高め、分けつ発生を促しましょう。
- ☑ 日中は止水にし、できるだけ水温を高めましょう。
- ☑ 入水は、夜間か早朝に行いましょう。
- ☑ 強風や低温が続くときは、水深をやや深めにして稲体を保護しましょう。

2. 除草剤の施用

- ☑ 散布時の水深は、粒剤、フロアブル剤が3～5cm、ジャンボ剤、豆つぶ剤が5～6cmとしましょう。
- ☑ 田面が露出すると、除草効果が劣るため、散布後7日間は止水し、田面の露出を防ぎましょう!!
- ☑ 雑草の葉齢はイネより生育が早いため、散布遅れに注意!!

3. 藻類・表層剥離への対策

- ☑ 藻類・表層剥離の発生が激しい場合は、一発処理除草剤の散布前に数日間落水しましょう。

【藻類・表層剥離の影響】

- ・風による吹き寄せによって生育初期のイネに絡み付き、イネが倒伏する。
- ・深水条件では、イネに覆い被さり、イネの生育を抑制する。
- ・日光を遮ることで水田の水温、地温を低下させて、イネの生育を遅らせる。
- ・除草剤（特にジャンボ剤や豆つぶ剤）の拡散を抑制する。
- ・土壌処理除草剤（初期剤や一発処理剤）の散布後に表層剥離が発生すると、処理層が土壌から剥がされ、除草効果が劣る。



管内の藻類多発圃場



管内の表層剥離多発圃場

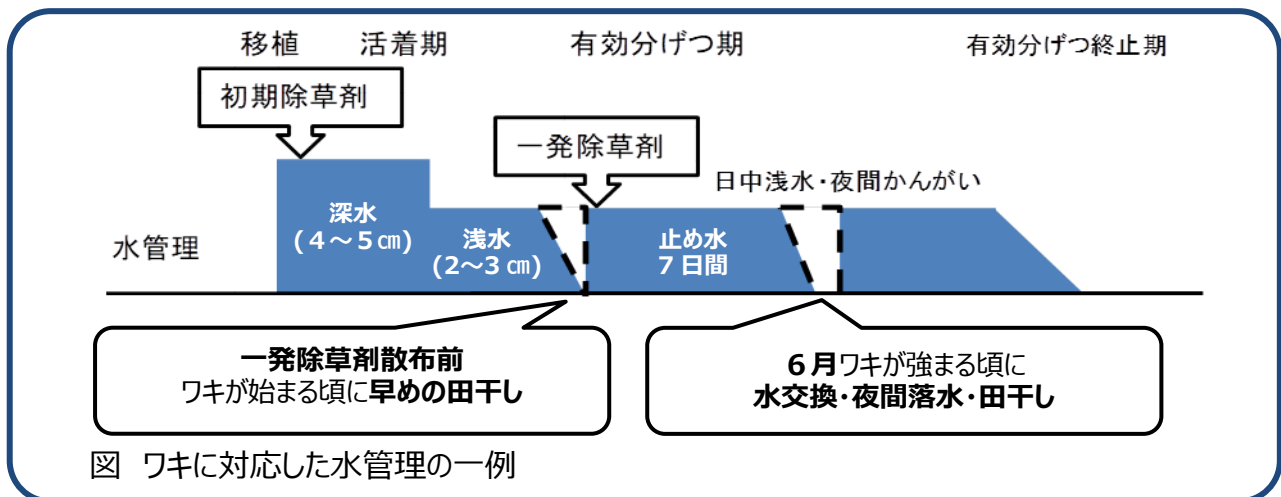
LINE を活用した情報提供を行っています。

QRコードを読み取り登録の上、ぜひご活用ください！



【土壌の異常還元対策】

- ☑ **土壌の異常還元（ワキ）がみられる場合は、水管理による対策を行いましょう。**
 - ・高温多照が続くと、土壌が還元して根の生育を妨げるガスが発生します（ワキ）。ワキが発生すると、**根の活力が低下し、葉が黄化して生育が停滞**します。
 - ・高温多照が数日続く場合は、2～3日おきに、用水の入替えを行い、根に酸素を供給しましょう。
 - ・ワキの発生が見られたら、**水交換、夜間落水、田干し**を行い、ワキの軽減に努めましょう。
 - ・毎年ワキが発生する圃場では、**一発処理除草剤の散布前に田干し(1～2日程度落水)**を行い、ワキの発生を防ぎましょう!!



【病害虫対策】

1. いもち病対策

- ☑ **取置き苗はいもち病の伝染源となるため、補植後直ちに処分!**
- ☑ 育苗箱施用薬剤を散布していない場合は、**6/20までに** 予防剤を散布!



取置き苗は直ちに処分

2. 斑点米カメムシ類対策

- ☑ 斑点米カメムシ類は、水田圃場周辺の雑草地で増殖! 日頃から雑草管理を徹底しましょう!
 - ・水田内や周辺に雑草が生い茂らないよう、水田内の除草、**畦畔の草刈り**や休耕田の耕耘等の雑草対策を徹底し、斑点米カメムシ類の発生源を減らしましょう!!

いもち病、カメムシ類は生育期間を通じた予防対策**が重要!!**

春季農作業事故防止運動強化期間(4/10～6/10)

- ◎ 春作業等におけるトラクターの転落・転倒事故を防止しましょう!
- ◎ 農薬は、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう!